ASPJ

NPO法人

Alopecia Style Project Japan

年次報告書 2022年版

2021年9月～2022年8月　年次報告書

Vision Mission

私達は

当事者　社会　医療

と

日常と社会をつなぐ架け橋になることを

使命として活動していき、次の世代へ繋がり、
あたたかい思いやりの輪が連鎖していくこと目標に、
一人ひとりが理解・尊重しあえる社会を目指していきます。

Vision（理想の状態）

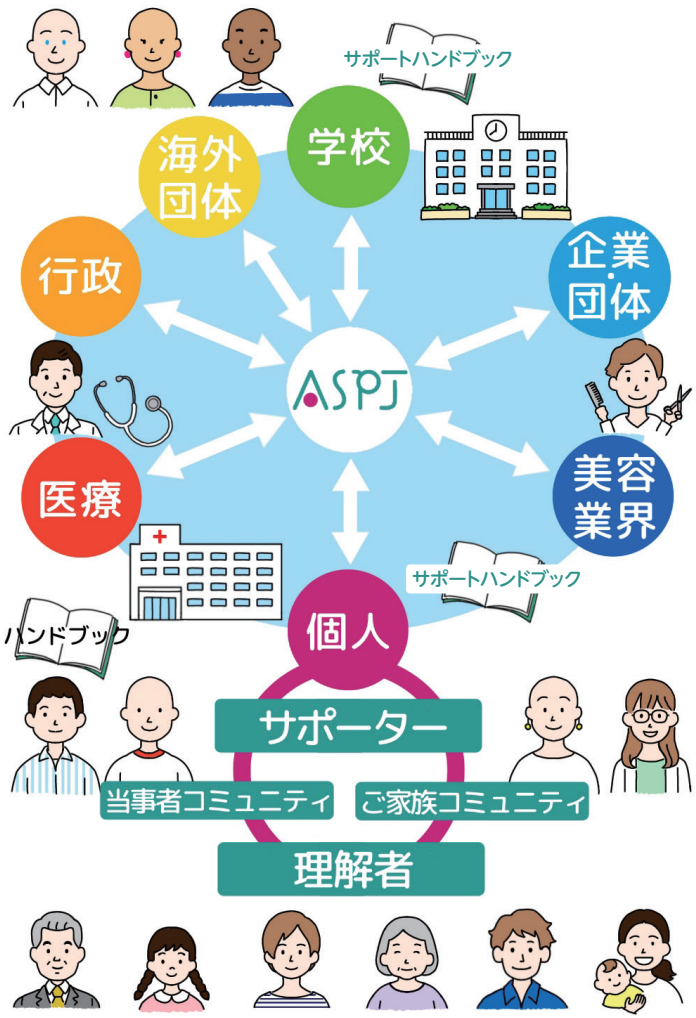
髪に症状があることをハンデにしない社会

当事者･･･多様性のある選択肢を提供する
当事者+社会･･･医療と日常と社会をつなぐ架け橋になる

※当団体では「ハンディキャップ」の意味を「不利にする条件を指す言葉」「欠けているものと認識すること」という意味で使用しております。

Value（基本的価値観）（行動指針）

- 選択肢の情報提供を行う
- それぞれの立場を理解し、尊重し合う
- 経験を共有し、次世代に活かす
- 業種業態を超えて共創する
- 当事者のエンパワメントを促す



団体概要

2017年に当事者有志により設立。ASPJは、脱毛症（だつもうしょう）、抜毛症（ばつもうしょう）、先天性縮毛症（しゅくもうしょう）・先天性乏毛症（ぼうもうしょう）の他、治療による副作用での脱毛などの様々な理由により髪に症状を持つ方と、そのご家族のためのコミュ ニティ運営を中心に活動をしています。

ASPJが取り組む社会課題

毛髪疾患の子ども・当事者の生きづらさは、「毛髪疾患への理解・支援不足」という社会側の課題と、当事者自身が毛髪疾患を抱えることでの「選択肢の減少」だと考え、ASPJでは設立当初から、毛髪疾患当事者の安心安全な場所での、繋がりをメインとした交流会を定期的に開催してきました。髪がないそのままの姿でも生きやすい社会に、自分たち自身が「選ぶこと」ができる社会にしていくには当事者自身が思う「ハンデ」を和らげていくことと同時に、社会側にある「ハンデ」を取り除いていくための取り組みを行う必要があります。

家族

- 高価なウィッグの継続使用や治療の経済負担
- 孤独からの情報不足
- 自責の念
- 世間の間違ったおもいこみ「ストレスでしょ?」「心が弱いんじゃ」

ヘアロス当事者

- 将来への不安
- 自己肯定感の低下

医療

- コミュニケーションギャップ
- 専門知識と経験のある医師不足

ASPJの特徴、これまでの軌跡

▶ASPJの特徴

当団体では、脱毛症・抜毛症・乏毛症や抗がん剤治療など、髪の毛の症状への理解を求めるとともに、病気として認知してもらうのではなく、もっと肯定的な感情と一緒に認知していただきたいと考えております。また、当事者コミュニティとしては国内最大（ASPJコミュニティサイト登録者数4563名2023年2月3日時点）です。
また、アート・芸術として発信する事で認知を高めていく活動を行っています。病気としての認知ではなく、その人自身の一部として認知される事、そして現在、髪の毛で悩む当事者の方を少しでも勇気付けたいと考えております。

私たちが考える課題

様々な理由により髪の毛を失う症状があります。「髪の毛がないこと」の理由を社会が正しく認知していないことで、偏見や限定的な見方をする事があり、ヘアロスの当事者は精神的なダメージを抱えています。また、症状以外にも、その思いを周りへ相談できず、一人で抱え込み、自信を取り戻せないでいる方も多くいる現状です。幼少期に発症することも多いため、当事者のご家族の方や保護者へのケア情報をシェアできる場も必要だと考えています。また、現在日本では、当事者の精神的な面をサポートする団体は少なく、全国に届いていないことが課題です。

【症状と全人口に対する発症割合】

抗がん剤副作用

1年間に
約9万人が発症

治療による副作用で、一時的に頭髪および全身の毛がなくなる。女性のがん罹患率40%

脱毛症

500人に1人

生涯罹患率
1〜2%

自己免疫疾患により髪の毛が抜ける。重度のものは髪の毛だけでなく眉毛・まつげ・鼻毛など全身の毛が抜け落ちる

抜毛症

100人に1人

全国の
1〜2%

自分で自分の髪を引き抜くことによる脱毛症状。思春期の発症が多いのが特徴。

乏毛症

10,000人に1人

全国約0.01%で
約1万人

遺伝的に生まれつき毛髪が少ない、伸びない、縮れ毛などの症状。

命に直結した病気ではないケースが多いため、注目度や緊急度が低いとされてしまうこともあり、実態把握や研究データなどが少ないのが現状です。ヘアロスや髪の毛に悩みを抱えている方は、新型コロナ後遺症での脱毛もあることから、把握されているよりもっと多いと推定されます。今までの「髪の毛を失ってしまった方へのサポート」は暗く重い雰囲気のものばかりでした。当事者としては症状と共に生活している事、髪の毛があることが当たり前ではなく、魅力を表すものでもなく、その人の一部であるという事、髪を失っても自分らしいライフスタイルを楽しんでいきたいと感じています。そのためサポートする側と当事者側での認識の違いが生まれることもありました。私たちASPJは「選択肢」を提案し「その人らしいスタイル」が見つけられる場所として活動をしています。

▶沿革

2017年 8月	団体設立
11月	IFA 一般社団法人花のある街振興会主催 国連 OCCAM（NGO）プロジェクト「2017 花と芸術 の祭典」への出演、 国連本部でのスピーチ（週刊 NY 生活デジタル版掲載）
2018年 8月	『湘南バリアフリーフェスティバル』 脱毛症の女性と障害のある方たちによるバリアフリーイベント協力
9月	SABETSU する心を変える デザインを探そう 出口治明氏、 Alopecia Style Project Japan、NPO 法人 Re ジョブ大阪の 合同イベント開催
2019年 7月	「V for Victory」美の指導とエモーショナルな支援を通じ力強くガンを 克服してもらえるようFelix Fischerが始めたアクションプログラム 「V for Victory」 http://vforvictory-japan.com/
9月	自分との誓い「My Ceremony」 https://aspj-myceremony.mystrikingly.com/
2020年 3月	東京都足立区東栗原小学校にて特別授業
6月	AlopeciaModel ART Project撮影スタート
7月	ホームページ内「コミュニティ」機能を追加
8月	毎日新聞関西版夕刊　掲載
8月	フジテレビ 坂上忍の「直撃! シンソウ坂上」抜毛症放送
2021年 3月	山野美容専門学校 教員向け講演会（会場参加者 60 名、オンライン 40 名）
12月	山野美容専門学校学生向け講演（会場 250 名、配信 300 名以上）
6月	「SNS医療のカタチ 医戸端会議」出演 https://www.youtube.com/watch?v=3dUFicbR4wc
6月	みんなと繋がるオンラインサロン開始（現：syncableマンスリーサポーター）
7月	静岡県立高校探求授業
8月	当事者による実態調査実施
9月	NPO法人化
2022年 2月	クラウドファンディングによるMV公開 → "それぞれの理由で髪を失った人たちが夢や恋をあきらめないための応援歌" Just the way you are【Music Video】ありのままの君が好きプロジェクト
9月	日本初ヘアロス啓発イベント実施（令和4年度） → ヘアロス啓発イベント キャンペーンサイト Alopecia STAND UP! 2022

【想像以上に沢山の人が一人で悩んでいます】

脱毛症は500人にひとり、抜毛症は100人にひとり発症していると言われており、乏毛症は少なくとも国内に1万人の患者がいます。髪が無くなるという症状は命に直結したものではありませんが、心理的にとても大きなインパクトを与えます。ウィッグなどで隠すことが出来るので、当事者の多くが人知れず悩んでいるのが現状です。

事業内容

1 毛髪疾患当事者とご家族のコミュニティサイトの運営事業

▶オンライン交流会の実施 毎月1回
2021年9月～2022年10月 計14回実施

▶会場での交流会の実施

2021年

10/30
京都府長岡京市 9名

10/31
東京都中央区 13名

11/28
東京都中央区 8名

2022年

5/3 大阪府梅田 8名
（株式会社プリシラ梅田サロン）

6/12 東京都中央区 24名

8/19 兵庫県神戸市 21名（株式会社マキシン）

9/4
京都府向日市
16名

9/10
福岡県中央市
26名

9/17
東京都渋谷区
13名

9/22-28
ヘアロス
啓発イベント
錦糸町丸井にて実施

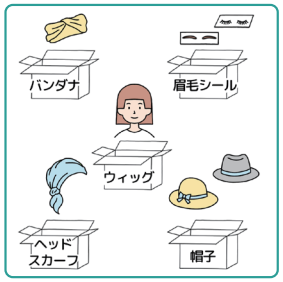
▶当事者への情報発信

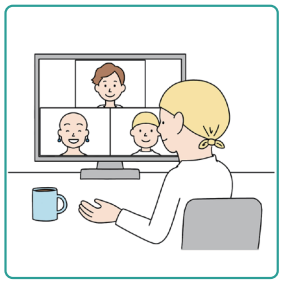
公式 LINE（799名）月 1 回以上の配信
コミュニティサイト登録者
（4337名2022年8月末）

▶医療美容師との連携オンライン施策

1/29　ウィッグカットレッスン【似合わせ編】3名
2/19　ウィッグカットレッスン【カット編】　2名
3/12　ウィッグカットレッスン【アレンジ編】　2名

▶ウィッグコンシェルジュによるプレゼント企画（医療美容師協力）





10月 Rさん	円形脱毛症	11歳	2月 Yさん	抜毛症	14歳	6月 Hさん	汎発性脱毛症	14歳
11月 Hさん	全頭型脱毛症	6歳	3月 Yさん	抜毛症	18歳	7月 Yさん	抜毛症	15歳
12月 Kさん	抜毛症	14歳	4月 Mさん	円形脱毛症	25歳	8月 Kさん	汎発性脱毛症	12歳
1月 Tさん	全頭型脱毛症	5歳	5月 Mさん	抜毛症	15歳	9月 Rさん	円形脱毛症	12歳

お子様専用のウィッグは種類も限られていることから、ASPJでは先輩当事者がサイズ調整の方法や工夫をお伝えしたり、フェイスラインに合うように医療美容師の方にご協力をいただき、調整したものをお送りしています。協力：リップスアカデミー ボヴさん&スズナさん https://www.ripsacademy.com/
オンラインでお話を伺ったり、サイズを測ったりします。本当ならば全国どこの美容室でもウィッグも気軽にカットに行けるようになればと願いますが、現時点では美容師の皆様の国家試験のカリキュラム内にウィッグの事は入っていないこともあり、なかなか浸透していません。ASPJが大事にしているのは「ひとりじゃないよ」と感じていただくことです。同じ痛みの分かる仲間もいます、理解のある美容師の方々もいます。今回年齢制限を設けているのは
3歳から6歳：　小学校入学前の相談、ウィッグデビュー
7歳から12歳：　中学校進学相談、ウィッグのこと
12歳～18歳：　高校、恋愛相談や就職のこと等、親以外に頼れる大人がいるという事はその後の人生も大きくかかわると思っています。
18歳から25歳：コロナの影響で就職や収入にも影響があります。
若年層の孤独を解決することが少しでもできればという事でSNSのご要望もあり対象年齢を引き上げました。

事業内容

2 毛髪疾患に関する啓発イベント・講演事業

毛髪疾患に対する理解の普及を目的とする講演会、研修会、セミナーの開催
2022年度　計7回　参加者約：658人

2021年12月 山野美容専門学校

10月 大阪地区理容師美容師教職員研修会 講演

9月 大阪樟蔭女子大学座談会

8月 京都府小学校3校 講演

ヘアロス啓発イベント 2022年9月実施 ※ヘアロス啓発イベント開催報告（リンク）

3 毛髪疾患に関する調査・研究事業

2021年7月～8月　実態調査　結果報告
https://note.com/aspjmodel/m/m4f24f27d8b19

4 アート、デザイン、音楽などでの情報提供・啓発事業

2022年2月 ありのままの君が好きプロジェクトMV 公開

2022年5月
エフェメラルアート・フェスティバル
アーティスト 中林可寶、八坂圭との共演 有楽町丸井

写真：HiKaRu

2022年9月
アメリカ雑誌BALD掲載

協力：株式会社LOTUS

メディア掲載

当団体の活動をより多くの方に知って頂くために、情報発信に力を入れてまいりました。また、事業としての価値を様々な形でご評価頂きました。

【新聞】

2022年	8月	神戸経済新聞「神戸の帽子店「マキシン」でヘアロス当事者の交流会」
	8月	繊研新聞 ヘアロスの認知広げたい ASPJがマキシンと「コラボ交流会」 帽子やウィッグの楽しさ体験 https://senken.co.jp/posts/aspj-220829

【テレビ】

2022年	8月	NHK news「おはよう日本」にて抜毛症放送
	9月	NHK 「超多様性トークショー! なれそめ」ヘアロス啓発イベント放送
	9月	NHK「ニュースLIVE! ゆう5時NHK」　ヘアロス啓発イベント放送

【WEBメディア】

2021年	9月	看護のお仕事／ナースときどき女子
2022年	2月	中央区社会貢献活動紹介【つながりマルシェ】
	4月	東洋経済オンライン ウィル・スミス問題「脱毛症」当事者はどう見たか 薬の副作用だけでなくさまざまな原因で発症 https://toyokeizai.net/articles/-/579466?page=3
	5月	amebaヒルズ「髪がない=かわいそうではない」30年隠してきた“抜毛症”当事者の訴え https://times.abema.tv/articles/-/10022014
	6月	fumufumuニュース「脱毛症」ってどんな病気? 患者が語る心の揺れと「私には髪がないから」という後ろめたい思い https://fumufumunews.jp/articles/photo/22721

【雑誌】

2022年	6月	「AERA」

実態調査結果

調査目的について

▶髪に症状をもつ当事者が行う実態調査

今まで医療従事者も実態を把握することが困難とされていた「抜毛症」をはじめ、自己免疫疾患が原因とされる「円形脱毛症」や「先天性縮毛症･乏毛症」の当事者及びそのご家族並びに近親者に向けた実態調査。毛髪疾患当事者とご家族が、どのようなお悩みを持ち、 支援を必要としているのかを把握 することを目的として実施しました。当事者団体場である ASPJ だからこそ“最もリアル”な声を聞くことができました。外見の問題は、心と直結している部分が大きく、当事者は深刻な悩みを抱えていることが多いこともあり、調査アンケートに回答する事で少しでも心の整理がつくように、お気持に寄り添ったものをと意識して、当事者の皆さんと協力して作成しました。自由回答では「自分を振り返るきっかけになりました」というお声もいただきました。

▶本調査の目的

「円形脱毛症」、「先天性縮毛症･乏毛症」、「抜毛症」の当事者及びそのご家族並びに近親者が、実際にどのようなお悩みを持ち、どのような支援を必要としているのかを把握することを目的としています。

- 円形脱毛症、抜毛症等の治療、研究への貢献
- 円形脱毛症、抜毛症、先天性縮毛症･乏毛症の方々の Quality of life =「生活の質」以下「QOL」といいます。)の向上のための効果的なサポートプログラムの開発

▶調査方法

受付期間　2021年8月1日(日)～2021年9月5日(日)

調査数　(毛髪疾患当事者：対象年齢：10歳～70歳)

円形脱毛症	276名
先天性縮毛症 乏毛症	54名
抜毛症	150名

(毛髪疾患当事者の家族、保護者及び近親者)

円形脱毛症家族	30名
先天性縮毛症 乏毛症	46名
抜毛症家族	19名

毛髪疾患当事者はどんなことに困り不安があるのか

2021年8月に初めて実態調査を行いましたが、当団体の関係者の回答が多いため回答に偏りもあると感じています。数値としては出ていませんが自由記述などを抜粋した形で公開しています。

▶症状ごとの特徴的な悩み

- 円形脱毛症(自己免疫疾患)
- ストレスが原因という認識が多く、そのこと自体に苦しい思いをする。
- 治療法が確立されていない
  (服用の治療薬オルミエントは、脱毛症上初期の段階での効果は出やすいものの15歳以上からの使用、高額医療費制度を使用し、飲み続けなければいけないといった状態である)
- 周囲へのカミングアウト
- 髪がないことで自死を選ぶことも
- 眉毛まつげ全身の毛がなくなることでのQOLの低下
- 就労時の選択肢が少なくなるなど
- 美容機会の制限

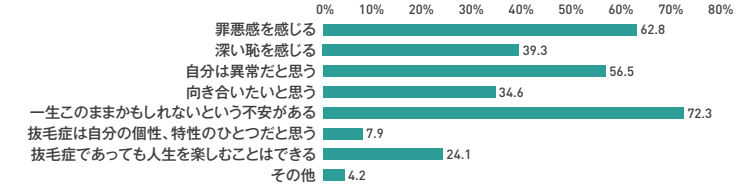
▶先天性乏毛症、縮毛症(遺伝子)

- 男の子だと間違えられる
- 縮毛ままで生活している人が多いが思春期になりウィッグを使用する際に自分との乖離感に悩む

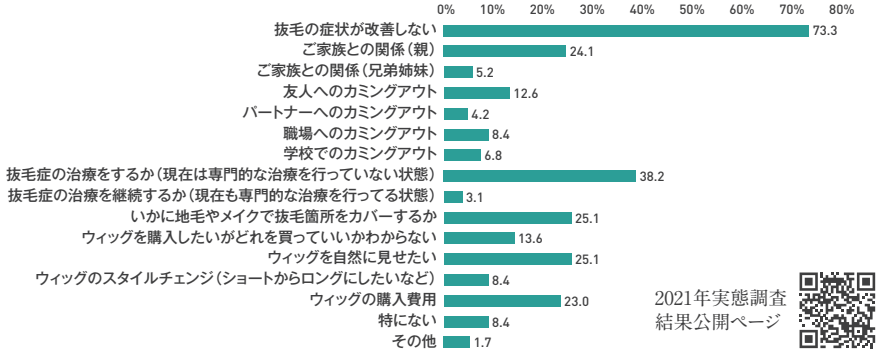
▶抜毛症(強迫性障害、発達障害)

- 専門医がいない、 精神科での治療薬を自己判断で過剰摂取
- 家庭環境の不和の原因が多いとされていたが、強迫性障害の見方もあり精神疾患を併発しているケースがあるが本人に自覚がない
- 安心して相談できる人や場所がない
- 繰り返して行われることで自己肯定感が下がり希死念慮をもつケースもある

ご自身の抜毛について、どのように感じていますか。(複数回答可)



今現在困っていることについて、あてはまるものがありましたら教えてください。(複数回答可)



2021年実態調査
結果公開ページ

サポーター

たくさんの方に支えていただきました

（2020年9月9日設立から2022年9月ヘアロス啓発イベントまで）

ASPJの活動を取り組めるのは、ご寄付、ご協力いただいている方のおかげです。一部となりますがマンスリーサポーター（定額寄付会員）皆様をご紹介します。52名ものマンスリーサポーターの方々にご支援いただき、また単発のご寄付でも活動を応援いただきました。

【個人スポンサー】

山本修二郎　中川 恵　松岡 千尋　C. Woodward　Aiko Futawatari
t.tomita　細田美緒乃　合澤真弓　森葉子

※お名前掲載許可いただきました方のみ掲載しております。

【ヘアロス啓発イベント協賛企業】

一般社団法人 日本抜毛症改善協会
株式会社NMT Japan「BMC CLINIC 南青山」
株式会社セラヴィ「アンベリール」
株式会社i-three「フローレン銀座」
株式会社クロスオーバー「AQUADOLL」
株式会社リネアストリア
株式会社プリシラ
株式会社アデランス
ルアン株式会社「スーパーミリオンヘア」
株式会社BERRY&ROSE
百合子ウィッグ
Yメンズウィッグ
京越株式会社「ブライトララ」
合同会社cityriverstyleちばる食堂
ナースメディカル株式会社

【ヘアロス啓発イベント協力企業】

株式会社丸井 錦糸町店
花王株式会社
一般社団法人ランブス医療美容認定協会
株式会社エフオーゼー
学校法人原宿学園 東京デザイン専門学校
株式会社ミライロ
株式会社ピンクエイジ
マテル・インターナショナル株式会社
KOKOKARA株式会社
合同会社Armonia「LINOLEA」
ナオカケル株式会社
株式会社マキシン
株式会社シゲマツ（ATRENA）
私元気ウィッグ
株式会社KuLaScip
特定非営利活動法人
japan hair donation & charity・JHD&C

代表挨拶

NPO法人設立と日本初の実態調査の実施で見えてきたこと

現在の日本社会では「多様性」「インクルーシブ」「ダイバーシティ」といった言葉に触れる機会が増えてきました。しかし、私達の生活の中には、見た目の問題や差別は根深く残っており、今もなお悲しい思いをしている方々がいます。団体設立時から大切にしている「ポジティブな認知で髪がないことを知ってもらう事」を実現するためには、当事者が置かれている現状の把握と調査が必要だという事に気が付き、自分たちで初めての実態調査を行いました。

髪がない病気の多くは、病気自体が命に直結するものではないとされますが、心理的な負担によりメンタルヘルスが悪化しやすく、精神障害を併発している方がいらっしゃる事も分かってきました。また、日常生活で使用が欠かせないウィッグについて、自治体の補助金制度は「抗がん剤の副作用が対象」と明記があるため、対象外の私達は該当しません。その点においても毛髪疾患の認知度はまだ低いことが見て取れます。

2021年の実態調査の回答数は合計651名の方にご協力いただくことができました。これは、ASPJが様々なヘアロス症状を超え、当事者・ご家族を中心とした多くの方々に支えられた団体だからだと思います。またSNSを通じての、個別相談の件数も増えてきていることから、2023年度は個々の当事者の経験によって得たものや情報を、まとめてお届けできるものとして、教育関係者の方々に知っていただけるよう支援網を更に広げ、ヘアロス当事者やご家族にも安心して利用できる、毛髪疾患サポートハンドブックの制作に取り組みます。

ここまでの活動が実を結び、小学校や美容専門学校での講演の機会もいただけるようになりました。こうしてヘアロスについての正しい知識を伝えていける機会が少しずつ増えてきていることは、ひとえにこれまで応援をいただいた皆様のご支援と応援があってのことと、心より御礼を申し上げます。

『髪に症状があることをハンデとしない社会。』それは社会側にだけ求めるのではなく、私たち当事者自身にもマインドチェンジが必要です。違いの中で互いに学び合い、育み合える成熟した社会づくりを目指し、ASPJはより一層邁進いたします。今後ともお力添えのほど、何卒よろしくお願いいたします。

理事長　土屋光子

書式第１５号（法第２８条関係）

事 業 報 告 用

令和３年度　貸借対照表

特定非営利活動法人Alopecia Style Project Japan

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【Ａ】　資　産　の　部		
１　流動資産		
現金預金	155,045	
流動資産合計　・・・①		155,045
２　固定資産		
（１）有形固定資産		
（２）無形固定資産		
（３）投資その他の資産		
固定資産合計　・・・②		0
【Ａ】資　産　合　計　①＋②		155,045
【Ｂ－１】　負　債　の　部		
１　流動負債		
役員借入金	157,307	
預り金	13,017	
流動負債合計　・・・③		170,324
２　固定負債		
固定負債合計　・・・④		0
負　債　合　計　③＋④		170,324
【Ｂ－２】　正　味　財　産　の　部		
前期繰越正味財産額	0	
当期正味財産増減額	-15,279	
正　味　財　産　合　計		-15,279
【Ｂ】　負　債　及　び　正　味　財　産　合　計　【Ｂ－１】＋【Ｂ－２】		155,045

書式第１２号（法第２８条関係）

令和３年度　事　業　報　告　書

特定非営利活動法人 Alopecia Style Project Japan

１　事業の成果

設立初年度であるため、組織基盤の確立に注力しつつ、任意団体として活動してきた毛髪疾患当事者及び家族の交流支援活動を中心に事業を実施して参りました。新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、適宜オンラインを活用し、毛髪疾患に対する理解の普及を目的とする講演会・研修会・セミナーの開催いたしました。また、世界的に制定されている ALOPECIA 啓発月間を日本においても実施していくために、クラウドファンディングを行い、2022 年 9 月 22 日～9 月 28 日（予定）に丸井錦糸町店での大規模な啓発イベントを開催いたします。関連企業や団体と連携し、広く一般に向けた認知向上の活動を開始いたしました。

令和４年度も引き続き各事業を積極的に実施することと、専門治療が不足している現状を変えていくために、医療従事者と共同でマイカルテ作成事業とともに、毛髪疾患サポートブック（実態調査結果白書内容含む）の制作、普及活動を行い、髪に症状があることをハンデとしない社会の実現に寄与していきます。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【1,963】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費（千円）
髪を失った当事者及び家族に対する支援事業	・オンライン交流会の実施	月１回	中央区協働ステーション、京都、大阪、福岡、兵庫及びオンライン	６人	毛髪疾患当事者及び家族の方	263 人	500
	・リアル会場での交流会の実施	月９回					
講演会・研修会・セミナーの開催及び運営事業	・毛髪疾患に対する理解の普及を目的とする講演会、研修会、セミナーの開催	年７回	ご依頼場所	５人	山野美容専門学校、大阪樟蔭女子大学、大阪理美容協会、京都府小学校３校	658 人	800
毛髪疾患に関する医療研究への支援事業	本年度の実施なし。						
毛髪疾患に関する調査及び普及事業	本年度の実施なし。						
書籍、パンフレット等の出版事業	・美容室、医療機関、教育関係者への団体紹介 パンフレット制作配布	随時	法人事務所	４人	一般市民	不特定多数（パンフレット 2,000 部発行）	663

書式第１３号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和３年度　活動計算書

特定非営利活動法人Alopecia Style Project Japan

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【A】 経常収益		
1 受取会費		21,000
正会員受取会費	21,000	
賛助会員受取会費	0	
2 受取寄附金		1,056,552
受取寄附金	1,056,552	
3 受取助成金等		350,000
受取助成金	350,000	
4 事業収益		568,645
自主事業収益	568,645	
受託事業収益	0	
5 その他の収益		28,590
雑収益	28,590	
経常収益計		2,024,787
【B】 経常費用		
1 事業費		
（1）人件費		0
給料手当	0	
役員報酬	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
（2）その他経費		1,963,028
諸謝金	30,000	
消耗品費	95,180	
旅費交通費	281,382	
通信費	42,093	
支払手数料	176,987	
印刷製本費	53,450	
諸会費	53,990	
地代家賃	274,680	
外注費	708,030	
支払報酬	46,750	
会議費	14,548	
宣伝広告費	83,588	
新聞図書費	45,360	
売上原価	9,159	
租税公課	8,547	
接待交際費	37,190	
雑費	2,094	
事業費計		1,963,028
2 管理費		
（1）人件費		0
役員報酬	0	
給料手当	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
（2）その他経費		77,038
消耗品費	10,576	
通信運搬費	4,677	
地代家賃	30,520	
旅費交通費	31,265	
管理費計		77,038
経常費用計		2,040,066
当期経常増減額 【A】－【B】 ・・・①		-15,279
【C】 経常外収益		
固定資産売却益	0	
過年度損益修正益	0	
経常外収益計		0
【D】 経常外費用		
固定資産売却損	0	
災害損失	0	
過年度損益修正損	0	
経常外費用計		0
当期経常外増減額 【C】－【D】 ・・・②		0
税引前当期正味財産増減額 ①＋②　・・・③		-15,279
法人税、住民税及び事業税　・・・④		0
前期繰越正味財産額　・・・⑤		0
次期繰越正味財産額 ③－④＋⑤		-15,279

書式第１７号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和３年度　財産目録

特定非営利活動法人Alopecia Style Project Japan

（単位：円）

科目	金額	小計	合計
【A】 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
ゆうちょ銀行	155,045		
流動資産合計　・・・①		155,045	
2 固定資産			
（1）有形固定資産			
（2）無形固定資産			
（3）投資その他の資産			
固定資産合計　・・・②		0	
【A】資産合計 ①＋②			155,045
【B－1】 負債の部			
1 流動負債			
預り金			
源泉所得税	13,017		
役員借入金			
理事長	157,307		
流動負債合計　・・・③		170,324	
2 固定負債			
固定負債合計　・・・④		0	
【B－1】負債合計 ③＋④			170,324
【B－2】正味財産合計 【A】－【B－1】			-15,279

ASPJ

髪に症状があることをハンデにしない社会

特定非営利活動法人Alopecia Style Project Japan
〒104-0061 東京都中央区銀座1−22−11銀座大竹ビジデンス2階

イベント発案者：Style with wigs 葉月

ASPJ 土屋光子（理事長）/石塚誠（監事）

鎌塚麻衣/杉山恵/門田頼枚/鈴木明美/石原三千代/

岡本穂里/古山琴/原島愛子/松村あすか

デザイン：髙木龍之介

メール　：alopecia2.0@gmail.com
HP　：https://aspj.site/
event　：https://aspj-group.peatix.com/

instagram：https://www.instagram.com/alopecia.style/?hl=ja
twitter　：@AlopeciaJ
facebook　：https://www.facebook.com/AlopeciaStyleProject
Youtube　：https://www.youtube.com/channel/UCYFjMh4B3WOdMFy-vH2yk8A